

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 29 年 4 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原監視カメラ（乗鞍岳の東北東約 7 km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・地震活動（図 2 - 、図 3）

火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。

火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 2 - ~ 、図 4）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況
（4月3日 乗鞍高原監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 5 月分）は平成 29 年 6 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

乗鞍岳

【計数基準の変遷】		
初期	2010年12月10日(観測開始)~2011年3月1日	三本滝振幅0.5 μ m/s以上、S-P2秒以内
変更	2011年3月2日~3月10日	三本滝振幅0.5 μ m/s以上、S-P1秒以内
変更	2011年3月11日~2013年11月1日	三本滝振幅3.0 μ m/s以上、S-P1秒以内
変更	2013年11月1日~	三本滝振幅2.0 μ m/s以上、S-P1秒以内

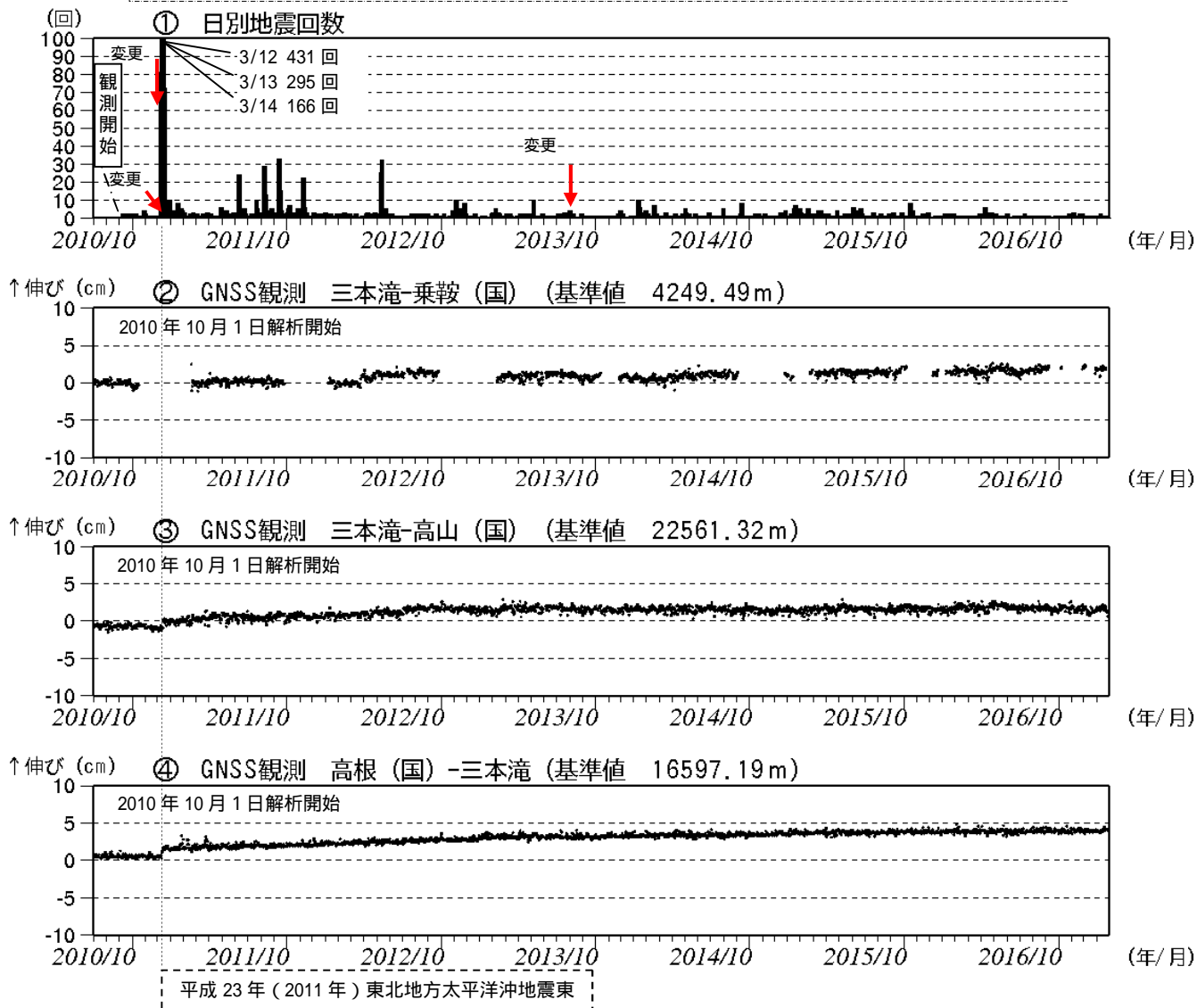


図2 乗鞍岳 火山活動経過図

乗鞍岳周辺の日別地震回数(2010年12月10日~2017年4月30日)

~ GNSS連続観測による基線長変化(2010年10月1日~2017年4月30日)

(国): 国土地理院

- ・ の基線には、『平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震』に伴うステップ状の変化がみられます。
- ・ ~ は図4のGNSS基線 ~ に対応しています。
- ・ のグラフの空白部分は欠測を示しています。

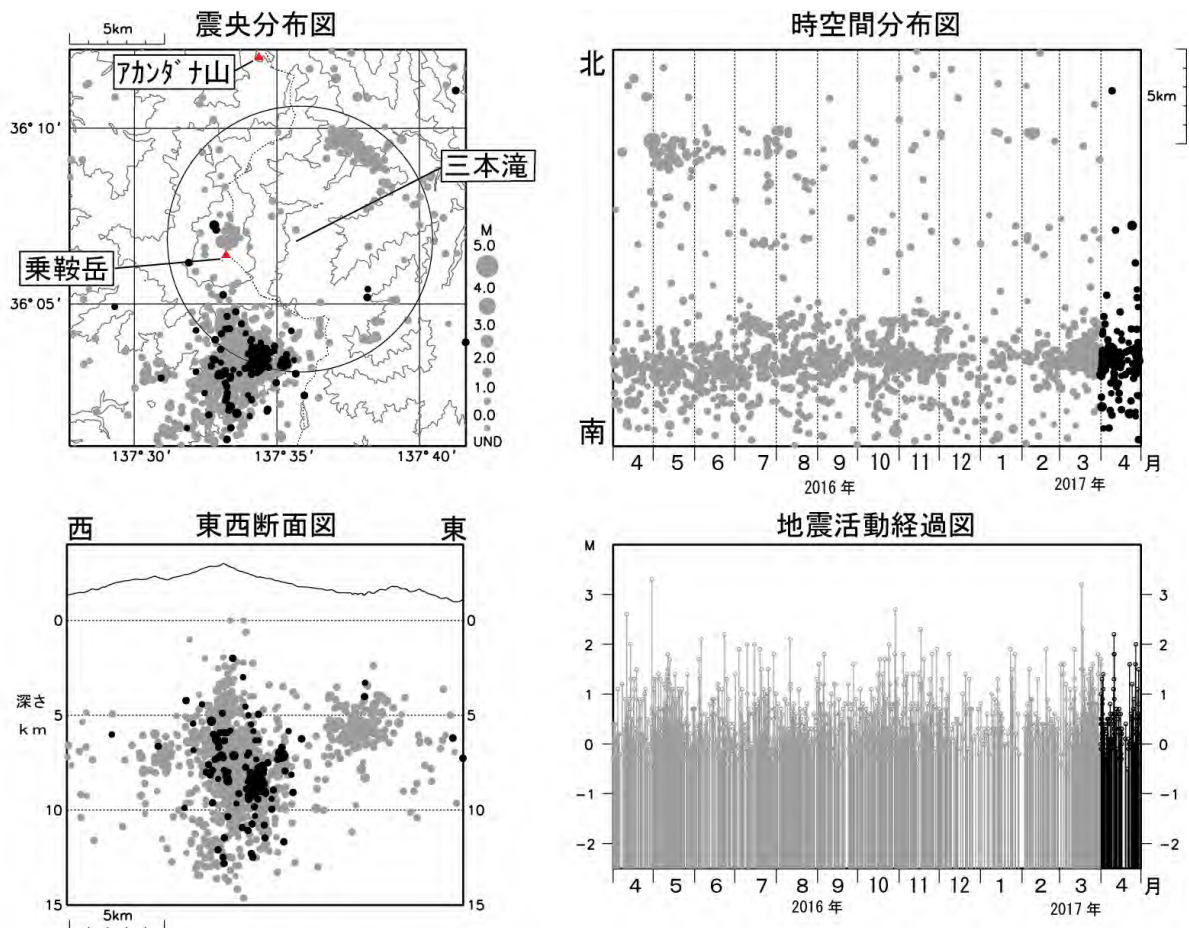


図3 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2016年4月1日~2017年4月30日)
 : 2016年4月1日~2017年3月31日 : 2017年4月1日~4月30日

- ・震央分布図中の円は図2 - の計数対象地震(三本滝でS-P時間1秒以内)のおよその範囲を示しています。
- ・広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。
- ・M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

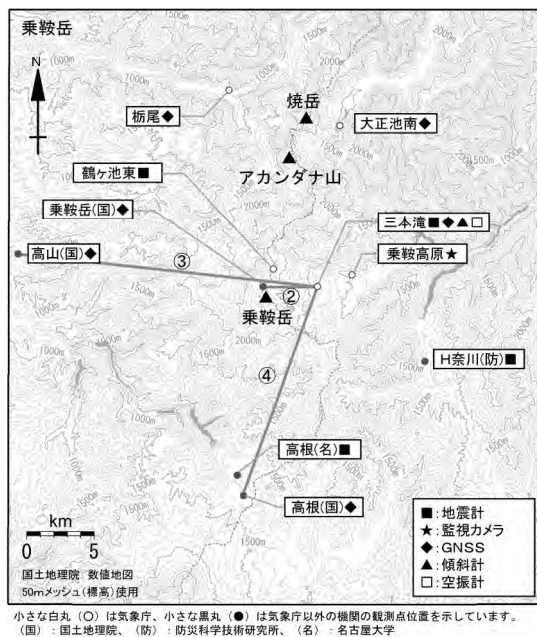


図4 乗鞍岳 観測点配置図

GNSS 基線 ~ は図2の ~ に対応しています。